



2024年5月10日

各位

会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 楠元 健一郎
(コード7918、東証スタンダード市場)
問い合わせ先 常務執行役員経営推進本部長 羽根 英臣
電話番号 03-5155-6801

通期連結業績予想と実績値との差異、繰延税金資産の計上に関するお知らせ

2023年5月12日に公表した2024年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値において、差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、繰延税金資産の計上を行うこととしたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想と実績値との差異
(2023年4月1日～2024年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|--------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 18,000 | 470 | 350 | 250 | 6.51 |
| 実績値(B) | 16,981 | 325 | 249 | 216 | 5.15 |
| 増減額(B-A) | △1,019 | △145 | △101 | △34 | |
| 増減率(%) | △5.6 | △30.8 | △28.8 | △13.6 | |
| (ご参考)前期実績 (2023年3月期) | 14,553 | △933 | △1,000 | △1,329 | △37.05 |

2. 差異の理由

売上高については、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類に引き下げられたこと等により人流が増加し、首都圏や観光都市等では想定通りの実績となったものの、その他の地域において想定を下回る実績となりました。時間帯別では深夜帯の売上回復が想定を下回る実績となりました。また、利益面においては、メニューミックス等による粗利益増の施策効果や、仕入れ原価・水光熱費・時給単価の高騰等のコスト増を吸収できるような収益構造改革が進んだものの、売上高の減少分を補うことができず、営業利益は145百万円減少、経常利益は101百万円減少となりました。

一方で、今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2024年3月期連結決算において、繰延税金資産を計上いたしました。これにより、法人税等調整額(△は利益)△68百万円を計上しております。

なお、繰延税金資産の計上による業績への影響等につきましては、本日公表の「2024年3月期決算短信[日本基準](連結)」に反映しております。

今後も、引き続き収益構造の安定化を進めるとともに、既存店舗の深化と進化による再成長、新業態や新概念業態の展開を進め、新しい付加価値による収益力の底上げと、再拡大に向けた店舗体制を整えてまいります。

以上